



R8(2026)年度 白樺サロンの会 志賀直哉旧居特別講座

古都奈良は今なおわれわれを美的世界へと誘います。この講座では、古都奈良が今日に伝えた遺産と、今にみる文学作品や美術について、その魅力を語ります。

古都の美と、近代の文学とを、ともに鑑賞しながら、志賀旧居講座の午後を心ゆくまで味わって頂きたいです。

古今東西の文学の世界から 今 人間を考えてみる

10月19日(月)14時～15時30分

「昭和100年企画 新収蔵記念／生誕140年 富本憲吉と昭和」
飯島礼子 奈良県立美術館 指導学芸員

9月19日から11月15日まで奈良県立美術館で開催する展示「富本憲吉と昭和」にちなんで、出品作品を紹介します。

また昭和時代の富本の作品と活動に注目し、時代的な背景を考察することを試みます。

11月16日(月)14時～15時30分

「フェノロサ、ビゲロー、町田久成と日本美術」
平瀬礼太 美術史家 愛知県美術館館長

明治日本美術の再興に大きな役割を果たしたフェノロサとビゲロー、そして東京国立博物館初代館長で博物館の父と言われる町田久成の墓が関西にあるのをご存じでしょうか。3人とも奈良をはじめとする日本の文化財再発見に貢献した共通性がありますが、3人を結び付けたのは実は仏教でした。同じ墓地に眠る彼らの、あまり知られていない関りを紹介します。

12月21日(月)14時～15時30分

「池田小菊『帰る日』を読む」
吉川仁子 奈良女子大学文学部准教授

志賀直哉に師事した作家・池田小菊は、奈良女子高等師範学校附属小学校の訓導でしたが、志賀のもとで作家修行に専念し、芥川賞の候補になったこともあります。戦後は、婦人会活動でも活躍しました。奈良ゆかりの作家である小菊を紹介するとともに、彼女の出世作で、『朝日新聞』に連載された『帰る日』を取り上げます。奈良を舞台にした恋愛小説であるこの作品を一緒に読んでみましょう。

<参加費>各回500円 入館料込 定員25名(申込先着順)

<申込先>学校法人奈良学園セミナーハウス志賀直哉旧居

奈良市高畑町1237-2

TEL/FAX: 0742-26-6490

E-mail: seminar@naragakuen.jp



志賀直哉旧居 検索